

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

男女共同参画推進課（内線：7075）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) よりん彩10周年を契機とした普及啓発事業	1,997	0	1,997				1,997	
トータルコスト	3,595千円（前年度0千円） [正職員：0.2人 非常勤：0.0人]							
主な業務内容	よりん彩記念日フォーラム、男女共同参画トップセミナー							
工程表の政策目標（指標）	<b>【普及啓発】</b> ・よりん彩事業への新規参入者を増やす。 ・男性の意識改革を進める。 <b>【人材育成】</b> ・男女共同参画の視点をもって地域で活動する人材を育てる。 ・普及啓発事業の担い手となり得る団体等を養成する。							
<b>事業内容の説明</b> <b>1 事業の概要</b> 男女共同参画について理解者のすそ野の拡大と組織のトップなどリーダーとなる人達への理解促進を図るための普及啓発を実施する。								
<b>2 主な事業内容</b> <b>(1) よりん彩記念日フォーラム2011</b> よりん彩開所10年間の軌跡を振り返るとともに、今後の男女共同参画社会づくりの契機となるフォーラムを開催する。 ・内容：10年を振り返るトークショー、基調講演 ・日時：平成23年4月29日（金） ・場所：倉吉未来中心大ホールほか ・総事業費：850千円（県補助金750千円、企業等の協賛金100千円）								
<b>(2) 男女共同参画トップセミナー</b> 自治体や企業など組織のトップを対象に、男女共同参画の進め方、マネジメントのあり方などについてのセミナーを開催する。 ・内容：著名講師（企業、大学関係者）による講演、リレートーク ・開催日：平成23年10月頃（予定） ・所要額：1,247千円								
<b>3 これまでの取組状況</b> 平成13年、男女共同参画センター（よりん彩）開所以降、誰もが心豊かにいきいき暮らせる男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発、人材育成、交流活動支援、相談対応などを実施している。 今後は、男女共同参画に対する理解促進や男性の共感が得られるような啓発を行い、理解者のすそ野拡大を図っていく必要がある。								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
多文化共生支援事業	1,587	776	811				1,587	
トータルコスト	3,185千円（前年度：2,390千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	多文化共生推進協議会（仮称）の開催、補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	本県に在住（滞在）する外国人への支援の充実							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>県内に在住する外国人の増加に対応し、在住外国人も地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会を実現するために、財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。</p> <p>また、在住外国人の方々、県、市町村、鳥取県国際交流財団等で構成する多文化共生推進協議会（仮称）を設置し、協議会で出された意見に基づき、多文化共生社会の実現に向けた取組を推進する。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 1,587千円								
<p>① 県実施事業 799千円</p> <p>② 鳥取県国際交流財団実施事業 788千円（全体事業費1,575千円、補助率1/2）</p>								
(2) 事業内容								
《県実施事業》								
① 多文化共生推進協議会（仮称）の設置（新規）								
<p>在住外国人の方々の意見を積極的にくみ取るため、在住外国人の方々、県、市町村、鳥取県国際交流財団等で構成する多文化共生推進協議会（仮称）を設置し、在住外国人の方々が抱える課題解決のための意見交換を実施する。</p>								
《鳥取県国際交流財団実施事業》								
① 医療通訳ボランティアに対するフォローアップ講座の開催								
<p>言語及び医療の専門知識、対人援助能力などの更なる資質向上を目指したフォローアップ講座を実施する。また、登録者同士の勉強会の会場確保など自発的な活動への支援を行う。</p>								
② 医療通訳ボランティア派遣事業								
<p>医療通訳ボランティアを登録し、依頼に応じて派遣する制度を運用する。</p>								
③ 異文化理解を促進する「国際交流フェスティバル」の支援								
<p>現在、県3地区で開催されている民間団体主催の国際交流フェスティバルについて、県民と在住外国人との異文化理解を促進する観点から財政的支援を行う。</p>								
④ 民間国際交流団体等への出前講座の実施								
<p>民間団体などが実施する会議等に講師を派遣し、多文化共生の意識啓発を図るための講座を開催する。</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

福祉保健課(内線：7158)

1目 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
支え合いボランティア養成組織化事業	16,558	13,687	2,871	8,278			8,280	
トータルコスト	16,558千円(前年度 13,687千円) [正職員：0.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	ボランティアコーディネーター養成研修修了者の増(目標値：500人)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

支援が必要な方が地域で安心して暮らしていくことができる環境を整備するため、養成したボランティア運営人材の組織化などを行い、県民のボランティア活動を一層活性化することにより、地域での支え合いの担い手を確保する。

特に、養成が急務となっている災害ボランティアについては、災害ボランティアバンクを設置、活動希望者を登録し、平常時からの情報提供及び災害発生時のボランティアニーズの収集・発信を行う。

2 主な事業内容

- (1) 実施主体 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
- (2) 補助率 定額(負担割合 国1/2、県1/2)
- (3) 補助の内訳

区分	内容	予算額(千円)
①災害ボランティアの養成【新規】	活動希望者の登録、情報提供、派遣調整を行う「災害ボランティアバンク」を設置・運営するとともに、災害ボランティアの担い手を養成する研修会を開催する。【新規】 また、災害ボランティアセンターの運営を行うコーディネーターを養成・登録し、組織化を図るとともに、関係機関による会議を開催し相互の連携を図る。【新規】	3,827
②ボランティア団体等運営人材の養成【一部新規】	市民とボランティアを調整するコーディネーターの研修会及び生活支援ボランティアのグループ等のリーダーの研修会を開催し、ボランティア団体を運営する人材を養成する。(継続) また、企業CSR活動(社会貢献活動)とタイアップしたボランティア講座を開催し、地域で活動する企業ボランティアを養成する。【新規】	1,786
③ボランティアの組織化【一部新規】	過去に養成したボランティアコーディネーターの組織化を図るため連絡会を設置し、組織化を図る。【新規】 また、市町村ボランティアセンター相互のコーディネートを行うとともに、市町村社協との課題の共有・検討を行い、市町村ボランティアセンターの活性化を図る。(継続)	216
④ボランティア団体の支援(継続)	鳥取県ボランティア・市民活動センターの運営、事業評価及びボランティア振興方策を検討するための委員会を開催するとともに、福祉施設の職員や学校等を対象とする福祉ボランティア情報誌「HOTeye」を発行・配布する。(継続)	1,104
⑤職員人件費	上記事業を行うに当たって必要となる職員の人件費	9,625

3 これまでの取組状況、改善点

従前、鳥取県社会福祉協議会が行ってきたボランティア運営人材の養成のみでは、一過性のものとなってしまっているため、一歩押し進め、これらのボランティア運営人材の組織化や連携を促進し、より一層ボランティア活動の活性化を図る。

また、特異性があり、平常時からの養成が急務である災害ボランティアについては、県社協において活動者を養成するとともに、災害時に迅速にボランティア受入体制を取るため、災害ボランティアセンターを運営する人材を養成し、日頃から関係機関相互の連携を図り、体制を整備する。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

福祉保健課(内線：7142)

1目 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 共生のまちづくり普及啓発事業	(6,980) 6,008	(0) 0	(6,980) 6,008			(6,980) (基金繰入金) 6,008	0	
トータルコスト	7,606千円(前年度0千円)[正職員：0.2人]							
主な業務内容	支え合いの心の普及啓発、イベントの開催							
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明 ※上段( )内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

1 事業の目的・概要

「支え合い」の心の醸成を目的としたイベント等を開催することにより、従来から啓発しているあいサポートや子育て隊などの制度の普及と、共生のまちづくりに向けた県民全体の機運の高揚を図る。

【現在実施している支え合いに関わる制度】

- あいサポート      ○認知症サポーター      ○子育て応援パスポート
- 子育て隊          ○ハートフル駐車場利用証制度

2 主な事業内容

内容	予算額(千円)
(1) 共通テーマによる広報 「支え合い」の心の醸成をイメージするテーマ(キャッチフレーズ)を設け、上記の各種制度の啓発と併せて県民へPRする。 ・キャッチフレーズの制定(公募)      ・キャンペーン期間の設定 ・啓発用小冊子の作成	781
(2) ハートフルフェスティバル(仮称)の開催 キャッチフレーズの元に「支え合い」の心の醸成を目的としたイベントを開催し、多分野の福祉施策に係るイベントとすることで「共生のまちづくり」の実現に向けた県民全体の機運の醸成を図る ア 開催時期      平成23年9月 イ 開催場所      西部地区 ウ 内容 講演(地域福祉などをテーマ)、表彰、取組発表、アトラクション、コンサート、パネル展示、福祉の店、高齢者疑似体験 など	4,786
(3) 県ホームページのバリアフリー対応施設情報提供ページ掲載情報の拡充 県内の各施設のバリアフリー対応状況等の情報が検索できる「バリアフリーマップ」をとりネット(県ホームページ)に掲載しているが、登録情報を追加し、心のバリアフリーの意識高揚を図る。 【追加する情報】 ハートフル駐車場協力施設      あいサポート認定企業 子育て応援パスポート協賛店      認知症サポーター所属企業	441 緊急雇用創出事業(972)

※財源：鳥取県介護基盤緊急整備等臨時特例基金

3 これまでの取組状況、改善点

従来より心のバリアフリーや支え合いの制度を推進しているところであるが、利用者等が伸び悩んでいるなど、これらの制度の趣旨や仕組みが県民へ十分に周知され浸透しているとは言い難い状況にある。

現在は個別にPRしている制度について、一度に幅広くPRする機会を設けることで、個々の制度に共通する「支え合い」の心の意識高揚につながる。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

9款 警察費

2項 警察活動費

2目 刑事警察費

会計課（内線：8502）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
犯罪被害者 民間支援団体 運営事業	5,000	3,000	2,000				5,000	
トータルコスト	7,396千円（前年度 6,227千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	企画、調整、運営指導							
事業内容の説明								
<p>1 事業概要</p> <p>犯罪被害者やその家族・遺族を支援するため、平成20年10月から本格稼働を始めた民間被害者支援団体「一般社団法人とっとり被害者支援センター」は、平成23年春を目標として「犯罪被害者等早期援助団体」指定に向けた準備を行っており、指定後は相談活動が更に活発化することが予想される。この早期援助団体への指定要件として、「相談事業等を遂行するための安定的な資金を維持できること」が必要とされており、現状での会費・寄付金等の収入見通しを勘案しても、県交付金の増額は活動資金の安定化に必要であるため、交付金を増額交付する。</p> <p>2 団体の概要</p> <p>(1) 法人の種類及び名称 一般社団法人とっとり被害者支援センター（平成20年12月5日法人登記）</p> <p>(2) 設立目的 ア 被害者等に対し、相談事業その他の支援事業を行う。 イ 社会全体の被害者支援意識の高揚を図る。 ウ 地域安全や人権の擁護に寄与する。</p> <p>(3) 事務所 鳥取市西町 県庁西町分庁舎（平成23年2月移転予定）</p> <p>(4) 役員等 理事13名、監事2名、顧問5名</p> <p>(5) 事務局の体制等 事務局長1名（専務理事兼務）、事務局員1名、支援ボランティア34名</p>								